

うるま市具志川総合体育館等建替 基本構想

【概要版】

2019(平成31)年3月



うるま市

I 基本構想策定の背景と目的

具志川総合運動公園に位置する具志川総合体育館及び総合グラウンドは、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として長い間親しまれてきました。

しかし、整備後30年以上が経過し、施設の老朽化が進むとともに、耐震性能も十分でないことから、利用者の安全性・利便性を確保するため、再整備が必要な状況にあります。

一方で、建設当時と比較して利用者の範囲が拡大しており、また、健康志向の高まりなども相まってスポーツに対するニーズが多様化・高度化するなど、同施設に求められる役割も変化しています。

このような状況を踏まえて、市民の幅広いニーズに対応し、市民スポーツや健康づくりを推進するとともに、スポーツを通じた交流を推進し、質の高い公共サービスの提供を図ることを目的として、具志川総合体育館等建替基本構想（以下、「基本構想」という。）を策定いたしました。

II 市民や利用者のご意見を踏まえた基本構想

基本構想の策定にあたっては、市民や施設利用者の幅広いニーズを把握するため、多様な方法で、幅広い意見を頂きました。

	対象	調査時期	調査概要
市民アンケート調査	16歳以上の市民 3,000人	2018(H30)年 9月～10月	■調査方法 ・郵送配布・郵送回収 ■質問項目 ・市内体育施設の利用状況 (目的、頻度) ・新たな施設への要望 ・現状の不満点 など
施設利用者アンケート調査	体育館・グラウンド の利用者	2018(H30)年 9月～10月	■調査方法 ・Webアンケート ■質問項目 ・利用諸室、目的 ・利用頻度 ・現施設の評価 など
スポーツ関係団体、事業者等へのヒアリング調査	体育館・グラウンド の利用団体、施設 運営事業者	2018(H30)年 9月～11月	■調査方法 ・対面ヒアリング ■調査項目 ・団体の利用状況 (大会、合宿誘致) ・現施設の評価 ・新たな施設への要望 など
パブリックコメント	市内に住所を有する者等	2019(H31)年 2月	・市HPや広報誌で周知し、 基本構想について意見聴取

Ⅲ 基本コンセプト及び基本方針

スポーツを楽しむ・健康市民になる場所づくり

＜市民がスポーツを楽しむ＞

市民の誰もが、生涯に渡り、いつでも気軽にスポーツを楽しみ、世代を超えて交流できる環境を整備します。

＜健康市民になる＞

年齢や体力に応じ、生活の中に運動を取り入れ継続することで、健康で楽しい生活を送ることができる環境を整備します。

基本方針1: 市民スポーツの推進を図る施設

- ・市民スポーツの拠点としての機能強化を図ります。
- ・市民の誰もが使いやすい施設とし、スポーツ団体の利用や市民が参加できる各種大会の開催にも対応できる施設とします。

**市民スポーツ
推進機能**

基本方針2: 市民の健康づくりの推進、継続的な運動機会を提供する施設

- ・運動のきっかけづくりの提供と運動継続のための支援ができる環境を整備します。
- ・子供から高齢者まで、個人から団体利用まで、幅広い世代や利用形態での、スポーツに対応した機能、サービスを提供する施設とします。

**健康づくり
機能**

基本方針3: 地域の活性化に資する施設

- ・トップスポーツの合宿や練習試合の受け入れにも対応することで、市民のスポーツへの興味や関心を高め、子どもが夢や希望を抱くことができる環境を目指します。
- ・民間活力の導入により、総合運動公園全体の魅力向上を図り、新たな賑わい拠点の創出を目指します。

**地域活性化
機能**

基本方針4: 安心安全なまちづくりに繋がる施設

- ・地震・津波などの大規模災害が発生した際の一時避難や防災資機材・食糧の備蓄倉庫などの設置により、防災機能を持つ施設を目指します。
- ・クリーンエネルギーの活用や省エネルギーの導入により、環境にやさしい機能を有するとともに、ライフサイクルコストの削減を目指します。

**安心安全
機能**

Ⅳ 体育館、グラウンドの整備方針

① スポーツ施設としての機能向上

【体育館】

- ・市民がバレー、バスケット、バドミントン、卓球等の多様な屋内型スポーツに親しめる体育館（アリーナ）を整備します。
- ・多世代の健康づくりを促進できるトレーニング室、スタジオ等の運動施設を整備します。
- ・市民のスポーツ大会等に対応できる観客席を備えたアリーナを整備します。
- ・市民が利用しやすい施設として更衣室、トイレ、休憩スペース等の機能向上を図ります。
- ・障がいの有無や年齢などにかかわらず、すべての人が利用しやすい施設としてユニバーサルデザインを導入します。

【グラウンド】

- ・市民が屋外型のスポーツを楽しめる施設として十分な機能を備えたグラウンドとして改修します。
- ・インフィールドの人工芝化、全天候トラックの改修など雨天時の利用もしやすい施設として機能向上を図ります。
- ・市民が利用しやすい施設として、更衣室、トイレを整備するとともに、屋根のある屋外休憩スペースを確保します。
- ・障がいの有無や年齢などにかかわらず、すべての人が利用しやすい施設としてユニバーサルデザインを導入します。

② 多様なスポーツ・運動プログラムを提供

- ・市民にスポーツ参加機会を提供するスポーツ教室等のプログラムを提供します。
- ・幅広い世代の方々が各自の体力や運動能力に合わせた運動習慣を身につけ、市民の健康づくりに繋がるトレーニング指導等のプログラムを提供します。
- ・市民スポーツの振興を促進するため、市民スポーツの指導者育成を行うプログラムを提供します。

③ 都市公園として利用者の便益機能の向上を図る

- ・スポーツ施設利用者だけでなく、公園施設利用者の利便性にも配慮した施設として、日常的な飲食提供機能（自販機の拡充）やイベント時の臨時出店（キッチンカー等）などに対応した施設とします。
- ・災害時の避難場所としての機能を備えた施設とします。

V 施設構成と規模、施設内容の考え

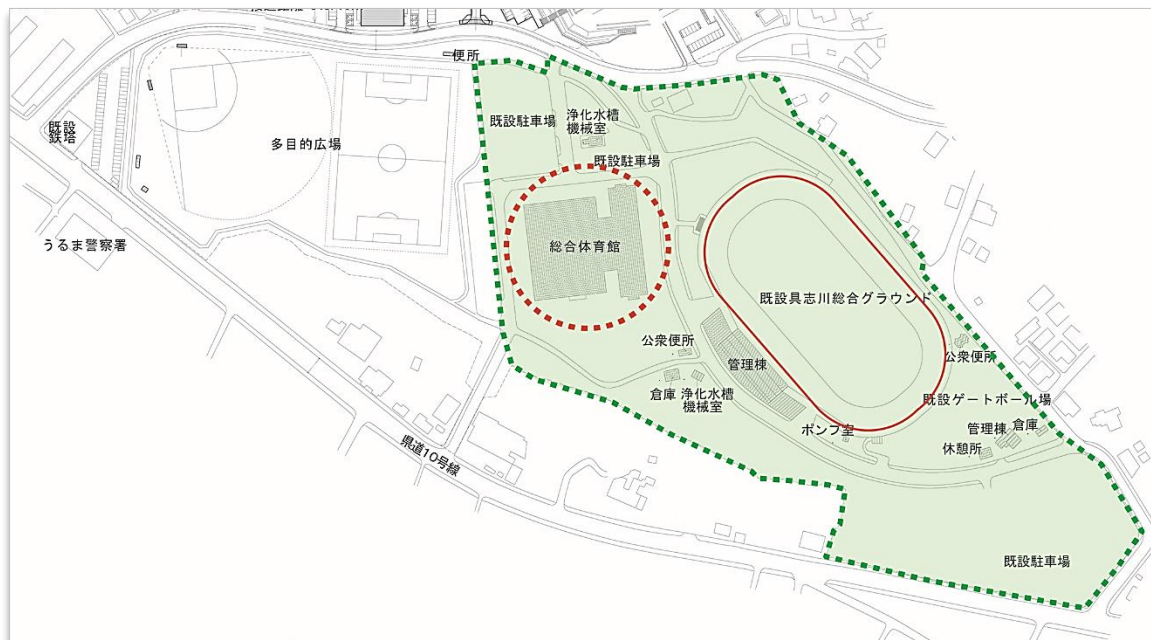
導入機能<体育館>		施設概要
アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的な市民スポーツから大会利用まで、幅広い利用に対応する機能を備えた屋内運動施設 ● スポーツ利用だけでなく、市内の大規模屋内収容施設として、各種イベントの開催も目的とした施設 ● アリーナにおける競技やイベントを「みる」ための固定観覧席を設置 	1,600 m ² 程度 (アリーナ部分のみ、48m×34m) <想定対応競技> バスケットボール 一般利用2面 (大会2面) バレーボール 一般利用4面 (大会2面) バドミントン 9面
サブアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ● 大会開催時に、参加者のウォーミングアップの場所としての活用や、大会期間中の一般利用の場所を確保するなど、アリーナの機能を補完する施設 ● 大規模な集会や式典などの地域活動にも対応できる施設 	500 m ² 程度 <想定対応競技> バレーボール 1面 バドミントン 3面
トレーニング室	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくり、体力づくりの場として、市民が主体的に運動に取り組める施設 ● 日常的な体力維持、健康増進を目的とする、トレーニングの場と各種機器を整備 	200～300 m ² 程度。 低めの負荷のフィットネスマシンを主とし、有酸素系、筋力トレーニング系などのフィットネスマシンも設置
スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> ● エアロビクス、ダンス、ヨガなどのフロアを使った運動が可能な施設 ● 板敷のスタジオ利用に加え、移動畳敷きによる武道場など、多目的利用に対応できる施設 	300 m ² 程度(武道場も兼ねる)
ランニングコース	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動前のウォーミングアップ、夜間又は荒天時の屋内ランニング・ウォーキングに利用 	2階観覧席の後部に周回できるコースとして、幅員 2.5m 程度を確保
ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館、グラウンドの利用者や公園内の他施設利用者が休憩、飲食ができる空間 	エントランスに接続する部分に配置。イス、ベンチ、自販機を置いたスペースとし、飲食も可能
会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の市民活動や各種教室に利用し、大会時には事務局や控室など多様な利用に対応 	30～100 名程度の利用が可能な会議室とし、パーティションで分割して利用することも想定
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ機器・備品だけでなく催事用備品や、管理備品、防災用品の保管、収納に利用 	概ね 500 m ² 以上

※その他、更衣室（シャワー室）、トイレ（バリアフリー対応）、放送室、医務室及び管理諸室等の設置を想定しています。

導入機能<グラウンド>		施設概要
トラック	<ul style="list-style-type: none"> ● 全天候型の仕様で、本格的な陸上競技から、ウォーキングやジョギングなどの市民利用に対応 	現状と同じ 8トラック、全周 400m、全天候対応
インフィールド	<ul style="list-style-type: none"> ● サッカー、ラグビーなどのスポーツに加え、各種イベントなど、多目的に利用可能なエリア 	雨天後も速やかに使える人工芝
クラブハウス	<ul style="list-style-type: none"> ● グラウンド利用者が利用する更衣室、トイレ、水飲みなどを備えた施設 ● 倉庫は屋外用スポーツ機器・備品に加え、催事用備品や管理備品を保管、収納 	屋上には壇上の観覧席を設置
休憩スペース	<ul style="list-style-type: none"> ● 練習時の休憩や競技観戦に利用できる、屋根付きで日中は日陰となる休憩スペース 	クラブハウスの両サイドに設置

VI 施設の配置の考え方

体育館及び総合グラウンドの配置について、施設整備・管理運営の効率性、経済的負担、駐車場の確保等を総合的に評価し、現状と同位置に配置することとします。



VII 整備後のイメージ



※上図はイメージです。今後、変更となる場合があります。

Ⅷ 施設整備・管理運営の事業方式

● 管理運営手法の整理

公共施設の管理運営手法としては、市が直接管理する方法と指定管理者により管理する方法があります。

本施設は、市民が積極的にスポーツに参加するとともに、健康づくりに継続して取り組める施設を目指しており、その為には、多様なスポーツ・運動プログラムの提供が必要と考えます。

スポーツ・運動プログラムの企画、運営に関する知識や技能は、市よりも民間企業の方が豊富です。そのため、本施設の運営については、指定管理制度を活用し民間企業の能力を活かせる手法が望ましいと考えられます。

● 施設整備を含めた管理運営

施設整備を含めた管理運営の手法として、PFI 事業があります。PFI 事業は、公募選定された民間事業者が、公共施設の整備段階から維持管理・運営まで包括して行うことができる手法で、施設の維持管理・運営を踏まえた施設設計が可能であり、より効率的な施設整備と効果的なサービス提供が期待できます。

本施設についても PFI 事業などの民間活力の導入を検討します。

Ⅸ 整備スケジュール(案)

従来方式 と民間活力導入 (PFI 手法) による整備スケジュールの案は以下のとおりです。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
従来手法	基本構想・基本計画	プロポーザル	基本・実施設計	入札	建設工事(18カ月)	供用開始
PFI 手法	基本構想・基本計画	公募準備	公募・選定	基本・実施設計	建設工事(18カ月)	供用開始

※上記スケジュールについては今後、変更となる場合があります。

うるま市具志川総合体育館等建替基本構想(概要版)

編集：うるま市経済部観光振興課

〒904-2292 沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号

TEL：098-923-7612 FAX：098-923-7623

URL：<http://www.city.uruma.lg.jp>